



議会だより

2016.5  
Vol. 50

# ふじかわぐちこ

西浜中学校閉校記念式典



● こういふことを決めました……2P

● 議会改革 ……………6P

● 予算特別委員会 ……………7P

● 代表質問 ……………14P

● 知りたい・聞きたい……………16P

● 窓・議会見聞録・編集後記…18P

表紙写真:西浜中学校閉校式

# ●第1回臨時議会

# =117億1千万円の内訳

## 第1回定例議会

平成28年第1回定例会は、3月8日に開会し、会期を23日までの16日間と決め平成28年度の予算等を審議しました。

平成28年度の一般会計予算額は、前年度と比較して8億2,000万円の増額となり、歳入歳出それぞれ総額117億1,000万円となっています。

他に、代表質問1件、一般質問(2人)が行われ、条例の制定6件、条例の一部改正8件、規約の変更1件、計画2件、字の区域、名称の変更1件、請負契約4件、同意案件2件、補正予算8件及び議員発議1件を審議し、原案どおり可決しました。

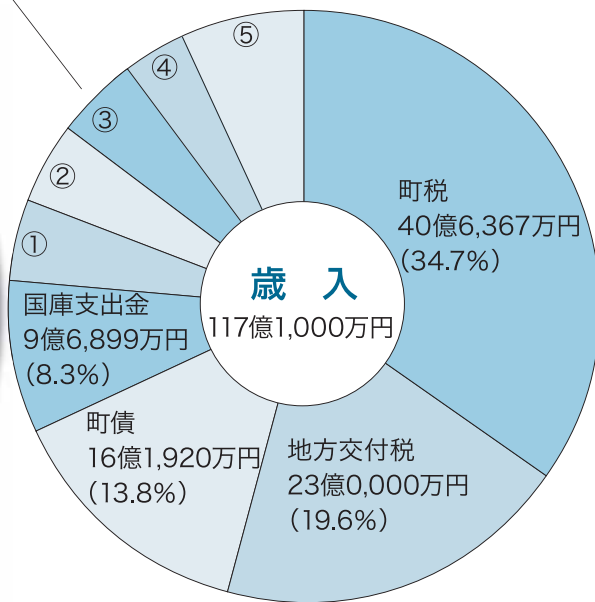
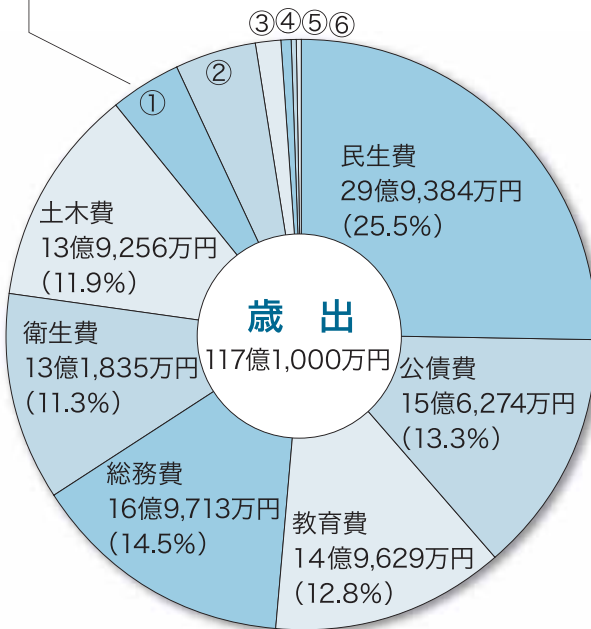
また、平成28年度一般会計予算と32の特別会計予算は、予算特別委員会を設置して集中審議を行い、すべての予算を原案どおり可決したほか、東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地等誘致特別委員会を設置しました。

# 主要事業に船津保育所建設事業費

### 平成28年度一般会計予算の内訳

①商工費	4億5,186万円	(3.9%)
②消防費	5億2,437万円	(4.5%)
③農林水産業費	1億5,019万円	(1.3%)
④議会費	9,512万円	(0.8%)
⑤諸支出金	1,756万円	(0.1%)
⑥予備費	1,000万円	(0.1%)

①県支出金	5億2,425万円	(4.5%)
②地方消費税交付金	5億3,000万円	(4.5%)
③ふるさと納税	5億円	(4.3%)
④繰入金	4億1,227万円	(3.5%)
⑤その他	7億9,162万円	(6.7%)



#### 歳出の 主要事業として

- ・ふるさと納税者謝礼品……………2億5,000万円
- ・上九一色分団消防ポンプ車購入……………3,500万円
- ・船津保育所建設事業費……………3億8,222万円
- ・西湖蝙蝠穴売店、レストラン改修事業……………3,000万円
- ・八木崎公園改修工事……………1億7,000万円
- ・船津小学校実施設計他委託料……………1億2,000万円

こういうことを  
決めました!

平成  
28年度

●第1回定例議会

# 町の歳入・歳出

## 特別会計予算

特別会計は特定事業のための予算で、原則的にはその事業に関連してのみ使われます。

会 計 名	28年度予算額	27年度予算額	前年度比
船津財産区特別会計	5億8,828万円	5億3,740万円	9.5%
小立財産区特別会計	5億1,628万円	4億6,495万円	11.0%
大石財産区特別会計	2,979万円	1,996万円	49.3%
河口財産区特別会計	8,592万円	7,972万円	7.8%
西深沢外十三恩賜県有財産保護財産区特別会計	157万円	166万円	△5.2%
勝山財産区特別会計	1億228万円	1億363万円	△1.3%
長浜財産区特別会計	254万円	227万円	11.7%
西湖財産区特別会計	717万円	634万円	13.0%
大嵐財産区特別会計	1,563万円	1,294万円	20.8%
青木ヶ原外七字及び小合山外七字恩賜県有財産保護財産区特別会計	513万円	501万円	2.4%
精進財産区特別会計	446万円	444万円	0.5%
本栖財産区特別会計	61万円	56万円	8.9%
富士ヶ嶺財産区特別会計	396万円	374万円	5.8%
大室山外三十字恩賜県有財産保護財産区特別会計	132万円	139万円	△5.0%
小立簡易郵便局事業特別会計	1,496万円	1,381万円	8.3%
富士ヶ嶺簡易郵便局事業特別会計	560万円	408万円	37.5%
河口湖治水事業特別会計	2,386万円	2,208万円	8.1%
富士河口湖町国民健康保険特別会計	32億4,020万円	31億5,975万円	2.5%
富士河口湖町後期高齢者医療特別会計	2億3,556万円	2億2,136万円	6.4%
富士河口湖町介護保険特別会計	17億6,258万円	17億4,025万円	1.3%
富士河口湖町介護予防支援事業特別会計	1,773万円	1,696万円	4.5%
船津公園墓地事業特別会計	1,071万円	1,035万円	3.4%
小立公園墓地事業特別会計	849万円	823万円	3.1%
勝山墓地事業特別会計	109万円	114万円	△4.5%
河口湖簡易水道事業特別会計	2億2,768万円	3億8,685万円	△41.1%
足和田簡易水道事業特別会計	3,798万円	3,902万円	△2.7%
上九一色簡易水道事業特別会計	9,837万円	1億3,050万円	△24.6%
富士河口湖町下水道事業特別会計	10億5,914万円	10億7,974万円	△1.9%
本栖下水道事業特別会計	368万円	292万円	25.8%
精進特定環境保全公共下水道事業特別会計	2,635万円	2,712万円	△2.8%
富士河口湖町温泉事業特別会計	5,503万円	4,701万円	17.1%

## 公営企業会計予算

会 計 名		28年度予算額	27年度予算額	前年度比
富士河口湖町水道事業会計	収 入	3億7,762万円	4億5,116万円	△16.3%
	支 出	4億7,686万円	5億8,635万円	△18.7%



## 条例の制定(6件)

- 1 富士河口湖町行政不服審査会条例  
(審査請求があった際の、審理員の意見書等を審議する機関を設置する。)
- 2 富士河口湖町法務専門職員の任用等に関する条例  
(行政不服の審査請求があった際に、審査員を任用するため定める。)
- 3 富士河口湖町行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 4 富士河口湖町小立土地区画整理事業保留地内道路整備基金条例  
(小立土地区画整理事業保留地内道路整備基金設置するための条例を整備する。)
- 5 平成28年4月1日から平成30年3月31日までの間における富士河口湖町副町長の給与の特例に関する条例  
(副町長の給与の特例に関して条例を整備する。)
- 6 西湖ネイチャーセンター条例  
(クニマス展示施設建設に伴い条例を整備する。)

## 条例の一部改正(8件)

- 1 富士河口湖町定住及び二地域居住促進に関する条例の一部を改正する条例  
(定住促進のための条例を5年延長する。)
- 2 富士河口湖町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例
- 3 富士河口湖町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 4 富士河口湖町税条例等の一部を改正する条例  
(地方税法の一部改正に伴う税条例の一部を改正する。)
- 5 富士河口湖町子ども医療費助成金支給条例の一部を改正する条例  
(子ども医療費助成を満15歳から満18歳までに引き上げる。)
- 6 富士河口湖町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例  
(重度心身障害児の医療費助成を窓口無料方式とする。)
- 7 富士河口湖町職員給与条例の一部を改正する条例  
(副町長の通勤手当に対応するために条例を改正する。)
- 8 富士河口湖町・鳴沢村介護認定審査会共同設置規約の変更  
(委員の任期を2年と定めた。)

## 一部事務組合の規約変更(1件)

- 1 山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更

## 計画(2件)

- 1 富士河口湖町過疎地域自立促進計画
- 2 富士河口湖町西湖辺地及び根場辺地に係る総合整備計画

## 字の区域、名称の変更(1件)

- 1 富士河口湖町小立・勝山地区の字の区域、名称の変更

## 補正予算(8件)

- 1 平成27年度 富士河口湖町一般会計補正予算(第13号)及び(第14号)
  - ◆補正後の歳入歳出予算の総額 118億91万円
  - ◆主な歳出
    - 公有財産購入費……………1,155万円 情報セキュリティ対応……………1,782万円
    - 減債基金積立金……………600万円 臨時福祉給付金……………5,921万円
    - ふるさと応援寄付基金積立金…700万円 除雪作業委託料……………900万円そのほか、6の特別会計補正予算

# こういふことを決めました!

## 議員発議(1件)

- 活火山防災対策の強化を求める意見書
  - ・提出者 小佐野 快 賛成者 井出 正広 高山 泰治 渡辺 元春
  - ・内容 富士山噴火が懸念される中、有事における安全対策はもとより、火山活動状況に関する情報提供や観光産業等の活火山防災対策について、国及び政府に対して必要な措置を講ずるよう求める。

## 委員の同意案件(2件)

- 富士河口湖町副町長…藤巻 美文 氏(北杜市)
- 大嵐財産区管理委員…渡邊 正亀 氏 三浦 亨 氏 渡邊 春雄 氏

## 東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地等誘致特別委員会の設置

委員長 小佐野 快 副委員長 外川 満



3/27 味の素トレーニングセンター視察  
(オリンピック強化施設)

## 定例会における請負契約(4件)

契約名または契約目的	契約金額	契約の相手
本栖湖青少年スポーツセンターグラウンド整備工事請負変更契約	変更前 1億7,798万円 変更後 1億9,039万円	コバヤシ工業・フジコンストラクト本栖湖青少年スポーツセンターグラウンド整備工事共同企業体
町道富士登山道線電線共同溝工事(3工区)請負契約	7,776万円	(株)吉野土建
町道富士登山道線電線共同溝工事(4工区)請負契約	7,722万円	(有)上田屋商会
新御坂配水池築造工事(土木・設備工事)請負変更契約	変更前 1億8,090万円 変更後 1億7,545万円	宮下組・フジコンストラクト新御坂配水池築造工事(土木・設備工事)共同企業体

## 第1回臨時議会〈2月4日開催〉審議内容

条例の一部改正1件、特別会計補正予算5件、一般会計補正予算、請負契約の変更2件、同意案件1件、選挙管理委員会の委員及び補充員の補欠選挙

### ▼条例の一部改正(1件)

富士河口湖町職員給与条例の一部を改正する条例

### ▼平成27年度富士河口湖町一般会計補正予算(第12号)

- ・ふるさと応援寄付基金積立金及び謝礼……………9,870万円
- ・ごみ収集委託料……………1,300万円
- ・町民プール濾過機修繕……………600万円

### ▼富士河口湖町河口湖治水委員会委員選任の同意

・三浦 由行 氏

### ▼選挙管理委員会委員

・渡邊 和也 氏(大嵐) ・渡邊 勇 氏(本栖)

### ▼選挙管理委員会委員補充員

・三浦 喜保 氏(西湖) ・九川 修 氏(本栖)

## 臨時会における請負契約(2件)

契約名または契約目的	契約金額	契約の相手
小立福祉センター新築工事請負変更契約	変更前 1億5,660万円 変更後 1億5,839万円	コバヤシ工業・塩沢建設小立福祉センター新築工事共同企業体
小立福祉ゾーン改良造成工事請負変更契約	変更前 5,562万円 変更後 5,689万円	(株)コバヤシ工業

# 議会改革推進特別委員会

## 意見交換会開催

富士河口湖町議会では、議会を3つの班にわけて各種団体との意見交換会を開催し、皆様の意見を町政に反映させることになりました。今般第2班が、次のとおり意見交換会を開催しましたので報告します。

班	第 2 班
開催日時	平成28年2月18日(木) 19時35分～
開催場所	富士河口湖町勝山ふれあいセンター
参加団体	富士河口湖町小中学校PTA連合会
参加町民数	11人
出席議員	7人 他 傍聴(7人)
実施内容報告	平成27年3月議会報告



意見交換会

### 要望・提言等

- ・河口湖南中学校が新しくなったので、教材のプリントや、生徒の使うものを順次新しくしてほしい。
- ・船津小学校の校舎が、建設検討されているが、併せて、体育館、プールも劣化しているので改築を検討して欲しい。
- ・船津小学校校舎の門扉がなく、セキュリティ上問題があるので早期に設置を。
- ・ショッピングセンターベルから変電所の通りに信号機等を設置して欲しい。
- ・船津小学校の近くの建物火災の跡が、そのままになっており汚く見苦しいので対応を。
- ・河口湖北中学校へ観光客がトイレを借りに来るので、立ち入り禁止看板と、観光用トイレへの誘導看板を設置して欲しい。
- ・新倉トンネルから北中学校入口へ繋がる通学路が狭く危ない箇所があるので対応を。
- ・小立小学校の校舎の壁が剥がれ落ちそうな箇所や、南西の扉の腐食などがあるので対応を。
- ・小立地区の南側は子供が増えたので、街灯の設置を。
- ・学童保育で夜7時ごろ引き取るが、補助を出して学生とか先生のOBを雇い入れては。

平成27年度に実施しました1～3班の意見交換会で、出された要望・提言等につきましては、内容を精査して町長に提出する予定です。

# 町の予算が有効に使われるか 委員会でチェック!

平成28年度予算



委員長  
外川 正純  
副委員長  
井出 正広

## 予算特別委員会

### 保育所について

**質問 Q** 本年度の入園児は758名となっているが、当町には新年度入園を待機しているものはいないか。

**答弁 A** 福祉推進課長 いわゆる国の定義する待機児童というものはない。県の第2子以降の無料化に伴い未満児が増加している。

**質問 Q** 保育士の確保が難しいなか、臨時職員の処遇改善が必要かと考えるが。

**答弁 A** 町長 3本立てになっている当町の給与体系を検討し、正規職員の確保に努めたい。

### 園児の給食無料化は

**質問 Q** 園児の給食無料化を段階的に行うことについて伺う。

**答弁 A** 町長 園児の給食費は保育料に含まれる。今年度は財政状況を鑑み、1人あたり月額4000円とし、2分の1の2000円を減額する。次年度、次々年度に向け全額無料を図る。

**質問 Q** 園児の給食無料化の財源は。

**答弁 A** 町長 急速に伸びたふると納税。当町の活性化を思う寄付金を充当する。

### 放課後児童クラブについて

**質問 Q** 社会福祉協議会への委託料が昨年度より200万円増だが。

**答弁 A** 福祉推進課長 小立の放課後児童クラブの支援員増に充てる。

### ごみの減量化について

**質問 Q** EMぼかし推進事業の状況は。

**答弁 A** 環境課長 町と町内有志によるポトリの会が共同で最大年4回、500キロずつ実施している。困難もあるが地道に推進する。

**質問 Q** 大型事業所（ホテル・旅館・売店等）から出される生ごみを肥料化する考えは。

**答弁 A** 町長 都内には有機肥料をつくり無料提供し、農家がそれをもとに野菜をつくり事業所に収める循環型事業を実施しているところもある。当町には生ごみ処理機に対する補助金制度もある。1事業所で無理なら共同運営できないものかとの思いはある。



**質問 Q** バイオセンターの指定管理者が代わった。バイオセンターで生ごみを肥料にする事業の進捗は。

**答弁 A** 環境課長 前指定管理者による実績や申請に不備があり、設置許可が取得できない状況にある。

## 遊休農地対策事業の現状は

**質問 Q** ふれあい農園の場所と事業状況は。

**答弁 A** 農林課長 場所は町民体育館西側の農振地区になる。3年前まではソバと大豆を栽培していたが、近年は鳥獣被害が多く緑肥作物を栽培している。

**質問 Q** 今後も遊休農地は増えるが。

**答弁 A** 農林課長 事業全体を見直す検討をしたい。

**質問 Q** 小立の島原地区の現状は。

**答弁 A** 農林課長 同地区に植樹した桃の木は65本になる。本年度は桃の実の収穫に期待が膨らむ。

## 地籍調査の状況は

**質問 Q** 富士ヶ嶺地区における地籍調査の進捗状況は。

**答弁 A** 農林課長 13地区に分けての調査は2地区が完了したが、他地区は難航している。

**質問 Q** 畑地帯総合整備事業への影響は。

**答弁 A** 農林課長 路線整備への影響はあるが、畑地帯総合整備事業も93%は完了した。



島原の桃畑

**質問 Q** 富士ヶ嶺地区以外では調査の成果が上がる地域を優先すべきでは。

**答弁 A** 農林課長 大石地区の完了をうけ、着手しているところから順次進めたい。

## 町独自のブランド商品を

**質問 Q** 県では鹿肉をジビエのブランド商品に立ち上げようと動き出した。町では精進活性化センターにジビエ食肉加工施設があり、すでに食肉の販売をしている。食肉だけでなく商品として町のブランドとしては。

**答弁 A** 町長 町の新たなブランドづくりには鹿肉のジビエのブランド化は一つの方法と考える。大石地区のサクランボやブルーベリー等も含め、町のアピールにつながればと思う。

## 観光周遊バスの路線が拡充

**質問 Q** 観光周遊バスの路線が拡充されるが新たなルートの概要は。

**答弁 A** 観光課長 「河口湖駅」から本年度開館する「富士山世界遺産センター」に向かい「山梨赤十字病院」「シヨツピングセンター・ベル」を經由し国道139号線から精進湖を周遊し、本栖湖観光案内所までとなる。





# 当町のビューポイント

**質問 Q** 新規事業として「ビューポイントの選定」がある。事業の内容は。

**答弁 A** 観光課長 世界遺産効果を一層有効に国内外のお客様へ発信するため、まずはいくつかのビューポイントを選定し、それをどう発信するかも含めて調査研究していく。

# ハーブフェスティバルの開催は

**質問 Q** 28年の湖上祭終了後に八木崎公園のリニューアル工事が2年継続で行われるが、29年のハーブフェスティバルの開催は。

**答弁 A** 町長 駐車場については大池公園等、無料の町営駐車場を活用し、規模を縮小してでも継続開催したいと考えている。

# 富士山西麓観光連絡

## 協議会とは

**質問 Q** 富士山西麓観光連絡協議会の協議内容を伺う。

**答弁 A** 観光課長 これまで、国土交通省関東運輸局を中心に当町と富士宮市で方向性をさぐってきた。富士宮市と

共同の観光施設、共同のバス事業、ホームページ等立ち上げて宣伝を図って行こうとしている。

# 食と宿の魅力向上を

**質問 Q** 食と宿の魅力向上事業の内容を伺う。

**答弁 A** 観光振興係長 専門のアドバイザーに1年間、この地域の食と宿の魅力について調査を依頼した。提言を受け事業の実行にどう移行していくか検討していく。

# 八木崎公園整備計画

**質問 Q** この整備事業は平成28年から2年間継続して工事を行なうのか。

**答弁 A** 都市整備課長 工事は原則続けて行なう。

**質問 Q** 一般の人への安全対策を万全に願う。

**答弁 A** 都市整備課長 工事着手後一般の人は立ち入り禁止となるので安全。

**質問 Q** 4つに分けた事業内容は

**答弁 A** 都市整備課公園管理係長 ①現グランド部分の全面芝化 ②見晴

らしの丘設置工事 ③湖畔沿いで楽しめるウッドデッキ工事 ④円形広場の駐車場工事、以上の4本柱で進める。

**質問 Q** 観光客、住民も含めどのように活用させる公園を目指すのか。

**答弁 A** 都市整備課公園管理係長 イベントにも対応でき、年間を通して住民が楽しめる公園となるよう考えている。



八木崎公園完成イメージ

## 雇用促進住宅の購入と 入居移転の是非

**質問 Q** 雇用促進住宅2棟のうち1棟は環境が悪いのだがその対策は。

**答弁 A** 都市整備課長 今後対策を考える。

**質問 Q** 北八津団地から移転するようだが、居住者への説明は行っているか。

**答弁 A** 都市整備課長 4～5月に住民説明会開催を考えている。

**質問 Q** 北八津団地は比較的便利な場所、移転するのに住民は交通の不便を一番懸念しているが考えを伺う。

**答弁 A** 都市整備課長 老朽化及び耐震不足も含め北八津団地は廃止の計画で進める、雇用促進住宅周辺の交通手段は検討中。

**質問 Q** 猶予期間も含め柔軟な対応を望む。

## 住宅リフォームの補助金対策は

**質問 Q** 補助金をより多くの人が使えよう条件を下げたらどうか。

**答弁 A** 都市整備課長 検討する。

**質問 Q** 地元業者の仕事が増えることも考慮し検討を願う。

## 旧村境線の計画は

**質問 Q** 小立土地区画整理区域西側、旧村境線道路の改良予定を伺う。

**答弁 A** 都市整備課長 事業化には多額の費用が予想される、補助金等考慮し計画する。

## 西川人道橋

**質問 Q** 設置場所と大きさを伺う。

**答弁 A** 都市整備課建設係長 場所は河口地区「のんびれっじ河口湖」の入り口付近。幅員2メートル・長さ約15メートルで計画（車椅子も通行可）。

**質問 Q** 補助金の関係と進捗状況を伺う。

**答弁 A** 都市整備課建設係長 社会資本整備総合交付金（補助率55%）が決まっている。平成28年度中に詳細設計をし、渇水期の時期に工事発注出来るよう進めている。

## 地方交付税の前年からの 縮減額は

**質問 Q** 合併算定替措置の縮減による減少額は

**答弁 A** 政策財政課長 地方交付税対前年度比1億8000万円減のうち縮減による影響額は約2000万円と試算している。

## 英語に親しむために

**質問 Q** 幼少期英語体験交流事業とは。

**答弁 A** 政策財政課長 外国人講師がふじびよんとともに町内の保育所に訪問し、児童に日常の身近な英単語を教えたりしながら慣れ親しんで、英語に親しみを持っていたりたく事業。

## FM無線局の活用

**質問 Q** FM無線局の補助金、町としてのメリットは。

**答弁 A** 政策財政課長 一番のメリットは防災減災の関係で、有事の際の即時性、普遍性というものは非常に有効であり、町や観光のインフォメーションに有効に活用できる。



## 新興住宅地の消防施設の充実を

質問 Q

2年位前の南台の大火事の際、防火水槽の不備が指摘されたが防火水槽、消火栓等の整備の進捗状況は。

答弁 A

総務課長 南台の防火水槽設置は用地を公有地として確保しなければならず、設置すると50年から60年間は撤去できないため用地が見つからない状況。今後、更に推進をしていく。

## 土石流の警戒地域内に避難施設の設置を

質問 Q

地域防災計画を作成するにあたり、大石地区は全地域が土石流の警戒地域になっているので安全なところに指定避難場所を。

答弁 A

総務課長 大石地区については公共施設が避難場所として指定されている。土石流の場合には全ての施設が土石流の警戒区域に入っていることから、安全な民間の施設と協定を結んでいる。地区として集会所など避難施設が必要性を十分議論し検討する。

## 備蓄倉庫の現状は

質問 Q

備蓄食料箇所は。

答弁 A

総務課長 備蓄食料は現在、7つの避難所に備蓄倉庫を整備しており、他に公民館に併設した物置があり10か所。

## 防災について

質問 Q

防災士の資格取得者の人数は。

答弁 A

総務課長 20名が防災士の取得をしている。

## オウムの跡地の有効利用は

質問 Q

富士ヶ嶺地区のオウムの跡地について企業誘致等の促進と概略の面積と利用状況は。

答弁 A

総務課長 一部は記念公園として整備しており、その他の土地については企業誘致用地として今後活用する。

## 今後の遊漁税事業の見通しは

質問 Q

遊漁税が毎年減少しているが。

答弁 A

税務課長 今年はワカサギが好調なので急激な税収の減収は考えていない。

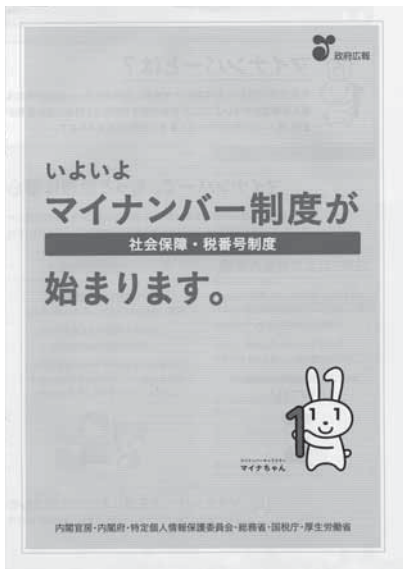
## 通知カードについて

質問 Q

住民に個人番号を通知する通知カードを受け取っていない人は何人か。

答弁 A

住民課長 3月14日現在でカードの件数は1万206件、通知返還戻り件数が1001件、転出等による破棄78件、窓口で再交付件数が728件、現在、住民課のほうで保管している件数が195件。



マイナンバー制度についてのパンフレット



## 健康診断の制限は

**質問 Q** 健康診断の基本健診及び特定健診、がん検診は年齢的な制限があるのか。

**答弁 A** 健康増進課長 基本健診については20歳から39歳までと75歳以上の方が対象者になる。(40歳から74歳は特定健診の対象)がん検診は対象年齢など細かい対象制限がある。

## ジェネリック薬品の活用を

**質問 Q** 子ども医療費助成事業で高校3年生まで医療費の無料化が進められるが、その財源確保のために、ジェネリック薬品を利用して医療費の抑制を。

**答弁 A** 健康増進課長 無料化によって、子どもの場合多く受診する機会を与えてしまうという懸念もあるが、医療費が増加する傾向もあるので、医療費の抑制を図るため周知を徹底していく。ふるさと応援基金を財源として充てる。

## 船津小学校建て替えの 実施設計は

**質問 Q** 船津小学校建て替えの基本設計がまとまり、新年度より実施設計に入りますが、基本設計のなかに、「ポケットパーク」

という部分がある。学校建設の議論のなかで、まちづくりについての検討は除くべきだ。

**答弁 A** 町長 その部分は教育エリアの一部と考えている。子どもたちの送迎場所などこれから検討したいと考えている。

**質問 Q** 保護者や学校などの意見をよく聞いて検討を。送迎場所という点では、現在の南側の駐車場はスクールゾーンのそばという問題がある。一方で、北側は国道で交通量が多く、交差点のそばという問題もある。十分な意見聴取が必要だ。

**答弁 A** 町長 設計士や学校のご意見も聞きながら考えていく。



船津小学校駐車場

## ICT教育の導入は

**質問 Q** 学校教育に、デジタル教科書や電子黒板の予算が計上されているが、当町の導入はどの程度すすんでいるか。

**答弁 A** 教育長 平成27年度にすべての学校に電子黒板を設置した。28年度にはデジタル教科書を導入する。今後は、タブレットの普及が課題。当町では、1人1台の普及にはまだ至っていないが、各学級単位で使える環境は整備してきた。

## サッカー場の利用率は

**質問 Q** 芝サッカー場の利用率は怎么样了か。

**答弁 A** 生涯学習課長 土日を中心に、主に町内のサッカーのクラブチームが、年間30日程度利用している。

## 公民館分館の活動状況は

**質問 Q** 各地区にある公民館分館で活動しているところはどのくらいあるか。

**答弁 A** 生涯学習課長 おおよそ半分が活動している。今後は、中央公民館に町職員を配置し、公民館活動が活発になるよう考える。



# 映画祭シナリオ募集終了 は残念

**質問 Q** 富士山河口湖映画祭の補助金が減額  
になって理由は。

**答弁 A** 文化振興局長 いままで行ってきた  
シナリオ募集を、10回の節目となる  
ことから一旦終了とすることによる。

**質問 Q** 今後映画祭はどのようになるのか。

**答弁 A** 文化振興局長 平成27年度のグラン  
プリ作品を28年度に映像化する。そ  
の後は、いままでの作品を有効活用してい  
き、さまざまな意見も聞きながら、復活の  
可能性も含めて事業の有効性を検証してい  
く。

**質問 Q** 回を重ねるごとに、内容が深くな  
り、町のアピールにもなり、おもし  
ろくなってきたのに、今回シナリオ募集し  
ないのは残念。町長の考えは。

**答弁 A** 町長 費用対効果なども考え、ここ  
で一区切りとする。これで完全に終  
わりということではなく、違う方法も考えて  
いきたい。

# 総括質疑

## 一般会計予算の歳出抑制は

**質問 Q** 本年度の予算の中で、歳出を抑える  
部分において配慮した点を伺う。

**答弁 A** 政策財政課長 財政規律を堅持する  
意味で、全職員が経常経費を約2%  
削減し、費用対効果とか実効性のある予算  
を優先的に計上した。

## 老人福祉対策の重要性

**質問 Q** 高齢者の生活の困難な状況に対して  
どのような対策をこの一般会計予算  
の中で検討されたのか。

**答弁 A** 政策財政課長 予算の特徴は、地方  
創生総合戦略に基づいて、それを強  
力に進めるためにハード、ソフトのバラ  
ンスを考慮しながら、教育、子育てを中心  
に考えたものだが、老人福祉、総合的な福祉  
政策というものを当然念頭に置いており、  
需要に見合った予算を的確に計上している。

**答弁 A** 町長 おなかに子がいる妊婦さんか  
ら、80、90、ひいては100歳の老人  
まで総てにおいて、均衡を保った政策を打  
つという事は、今の財政状況から1年で

やり遂げるのは無理なので、年を重ねた中  
で段階的な方法をもって対処していきたい。

## 過去最大の大型予算の編成

**質問 Q** 本年度予算は、本当に思い切った予  
算編成になっている。町長にこの  
117億円の思いを伺う。

**答弁 A** 町長 通年ベースに比べると10億円  
ちよっと多いその原因ですが、船津  
地区においては保育所の建設、船津小学校  
の実施設設計等があり、河口地区においては  
多目的広場等があり、また、長浜の親水公園、  
小立の八木崎公園がある。そうした中で、10  
億円以上の大型事業が積み重なった。

## 子供教育の充実を

**質問 Q** 子供の教育でソフト面も非常に大事  
だが、スクールソーシャルワーカー  
に本年度どのような活躍をしてもらおうと  
しているのか。

**答弁 A** 教育長 学校とは学習をするところ  
だが、学校であっても家庭の貧困問  
題にもかかわらないと子供たちを底上げし  
ていくことができない状況がある。それを  
サポートする形でソーシャルワーカーや教  
育センターを有機的に活用していきたい。

# 代表質問



代表質問者  
渡辺 元春

## 28年度当初予算

**質問 Q** 28年度当初予算の方針と施策を伺う。

**町長** 平成28年度の当初予算の方針は、確かな将来展望を持てるよう総合計画後期基本計画、また地方創生等が持つ理念を念頭に置いて、人口減少、少子高齢化の対策、町民サービスの維持・向上、安全・安心の確保、魅力あるまちづくりの推進などを遂行する。

**主な施策は**保育所給食費の無料化、保育料そのものの第二子以降の一部無料化、また医療費は、高校生まで無料化する。少子高齢化に対応すべく不妊治療費助成、さらに、保育所や小中学校の環境整備は船津保育所改築事業、船津小学校の改善及び公園整備等を予算化した。

## 代表質問

**関連質問** 渡辺 美雄

**質問 Q** 平成27年度、当町の人口は減少に転じたが、具体的な施策に加え人口の目標数値は。

**答弁 A** 政策財政課長 2060年までに2万3000人を目標とした人口ビジョンを策定している。

**関連質問** 渡辺 正己

**質問 Q** 河口湖北岸地区整備事業の具体的な事業内容は。

**答弁 A** 都市整備課長 河口多目的広場パークレットパーク駐車場整備、湖畔街路灯設置、河口湖北岸地区サイン整備を。長浜親水広場整備は、遊歩道の整備に当たり用地購入を予定している。

**関連質問** 井出 正広

**質問 Q** 基本的な財政状況の指標として、基金残高、起債残高、債務負担行為残高について、過去数年間の推移を示していただきたい。

**答弁 A** 政策財政課長 基金残高は、平成19年度末では約32億2300万円。平成26年度末では約49億8600万円となっており、比較すると約17億6300万円の増額。

起債残高は、平成19年度末では約152億41000万円あり、平成26年度末では約169億9900万円、総額では約16億6800万円増加しているが、地方交付税の実質的な代替財源と解釈される臨時財政対策債を除いた実質的な起債残高は、約11億9600万円縮減されている。

次に、債務負担行為残高は、平成19年度末では約14億5000万円あり、平成26年度末では約6億5000万円となっている。比較すると約8億円縮減されている。

**関連質問** 三浦 康夫

**質問 Q** 船津保育所改築や船津小学校の改善等と、大型事業費に合併特例債が充てられると思うが、全地区の地域審議会にその旨を諮ってあるか。

**答弁 A** 政策財政課長 平成27年11月末から各地区で地域審議会を開催し、船津保育所改築や船津小学校の改善は、新町建設計画への追加承認を得ている。

**関連質問** 高山 泰治

**質問 Q** 船津の保育園、また小学校と合併特例債が使われているが、この特例債の残高と、あと何年間特例債の使用が可能か。

**答弁 A** 政策財政課長 28年度末で可能額が19億7000万となる見込みで、期間については平成32年度まで適用になる。



## 指定管理者制度の活用

**質問 Q**

指定管理者制度は、公の施設の管理を民間活力、民間ノウハウ等を活用しながら住民サービスの向上と行政負担の軽減、経費の節減を図ることを目的とした制度であるが、よりこの制度の趣旨に沿った事業者を活用すべきだと思うが。

**答弁 A**

町長 毎年度当初に全町的に当制度の導入、更新を行っている。今後も引き続き町の財政負担の軽減を図り、また住民サービスの向上を図る上からも、積極的な導入、更新に努めていきたい。

関連質問 高山 泰治

**質問 Q**

ステラシアターの施設も20年を過ぎて修繕が必要になる中で、指定管理者制度の導入が年々見送られてきているが、その導入の時期について伺う。

**答弁 A**

町長 ステラシアターは全国的にも珍しいコロシウム方式の構造を持つた施設であること、現在サポーターズクラブで大勢の方にご支援されていること等、費用面からも今後どういった運営形態がよいか考えていきたい。また、文化的な施設は費用面から論ずることも大事だが、文化そのものの理念を論ずることも大事ではないかとも思っている。そのほかの施設も含

めて、いわゆる民活の導入、指定管理者制度の導入については、今後とも念頭に置いて考えていきたい。



ステラシアターでの音楽祭

## 合併支援道路の進捗、 勝山、長浜間のトンネル 開通への働きかけ

**質問 Q**

県の事業ではあるが、町としても積極的に提言し、1日も早い開通が望まれるが、町長の考えは。

**答弁 A**

町長 合併支援道路の船津小海線の進捗状況は、3月9日午前10時に役場の北西の交差点から小立区画整備地区まで約1キロが供用開始される。

勝山工区は現在一部工事中だが、県としては用地交渉を最優先し、この区間について早期完成につなげたいとの報告を受けている。

勝山から長浜間までのトンネル延長工事につきましては、早期に県に要望をしていきたいと強く思っています。

関連要望 三浦 康夫

防災上からも勝山から長浜間までのトンネル延長を強く要望する。

町長を先頭に、我々もお供するので、県・国に陳情をお願いしたい。

その他の質問

## 八木崎公園の計画について

関連質問 井出 正広

関連質問 渡辺 美雄

代表質問



一般質問者  
山下 利夫

一般質問

「要支援1」「要支援2」の方に  
専門的サービス提供を

**質問 Q** 「要支援1」「要支援2」の方の生活援助サービスを「住民主体の多様なサービス」に置き換えていく方針だ。そうじや調理などの生活援助は、心身の状況を把握し、認知症の重症化を防ぐなど、専門性が求められる。今後も介護事業所による専門的サービスの提供を。

**答弁 A** 健康増進課長 「要支援1」「要支援2」は自立度の高い方。生活援助サービスのみにでなく、地域での見守りなどと共同で、重症化予防をめざす。当面は現行サービスを維持しながらすすめる。

子どもたちの居場所づくりを

**質問 Q** ひとり親、共働き世帯など、自宅で子どもだけで過ごす時間が多く、宿題やテスト勉強などに集中できない、経済的理由で塾に行けない、などの状況がある。西桂町の「土曜学習」、学生による無料の勉強会などの取り組みが広がっているが、当町でも検討を。

**答弁 A** 教育長 当町では、家庭の状況が学力格差とならないよう、町採用教員の配置によるきめ細かい学習指導を行っている。今後、当町の子どもの貧困実態を把握し、

子どもの居場所づくりを形にしていきたい。  
安保健法への町長の見解は

**質問 Q** 安保健法は、海外での武力行使を可能にする憲法9条違反の法律だ。まず行われようとしているのは、南スーダンのPKOに派遣されている自衛隊の武器使用の拡大であり、現実に、自衛隊員から戦死者を出し、現地の人を殺害する危険性が高まる。世論調査でも国民多数が反対だ。廃止すべきと考えるが、町長の見解は。

**答弁 A** 町長 安保健法は、現在の国際情勢のなかで、平和で安全な国家を維持していくうえで必要な法律だが、自衛隊の活動拡大には疑問の声が強い。よく議論し、国民の理解を深めることが最重要と考える。

河口湖駅から湖畔への  
道路の安全確保を

**質問 Q** 河口湖駅から湖畔に向かう道路は歩道がなく、安心して歩行できない。道路の路側帯に色をつけ、歩行部分と車道の区別を明確に。

**答弁 A** 都市整備課長 道路や側溝の補修も視野に入れて、歩行部分の着色も検討する。

インフルエンザ予防接種  
2回目にも助成を

**質問 Q** 当町では、中学3年生までのインフルエンザ予防接種（1回目）に2500円助成している。子どもは2回接種がより有効とされているが、6000〜8000円の費用がかかる。富士吉田市のように2回目にも助成を。

**答弁 A** 健康増進課長 今年2月、県内全域で大流行した状況を受け、感染予防をよびかけるとともに、当町でも2回目の接種への公費助成を平成28年度より実施予定だ。

## 子供に届く支援体制を

**質問 Q**

国は貧困の連鎖を断ち切るため、2016年度予算案に33億円を盛り込んでいます。国も本腰を入れ出した子供の貧困対策を町はどのように考えているのか。また、町子どもの貧困対策実施計画を策定する予定はあるのか。

**答弁 A**

福祉推進課長 基本的には、我が町も県の意向にそって支援を進めていくが、プライバシー等の問題で現状把握ができていない。関係各課が連携し貧困の実態調査を実施していかねばならない。町子どもの貧困対策実施計画策定は、その調査結果等を踏まえて検討。

一般質問者  
佐藤 安子



## ろう者の願い、手話言語条例制定を

**質問 Q**

2011年に障害者基本法が改正され、言語に手話を含むことが明記された。一人の人間としての権利、この権利を社会で守り尊重することの一つとして手話言語法の制定がある。町も手話言語条例を制定して障がい者に優しいまちづくりを推進していく必要があるが。

**答弁 A**

福祉推進課長 町聴覚障害者協会の方々とさらに連絡を密にし、県内で制定した市川三郷町や上野原市の状況等を聞き取った中で、条例の理念を含め具体的事業を検討した上で、条例制定に向けて取り組む。

## 歯を大切に作る町に

**質問 Q**

歯周病は糖尿病、狭心症や心筋梗塞、肺炎など、全身疾患を起こす原因にもなる。町では40歳から70歳まで10年ごとの節目で歯周病疾患検診を無料で実施しているが、早期発見、早期治療には限界がある。町民の歯が健康で体も健康となるような施策を検討していただきたい。

**答弁 A**

健康増進課長 今後、定期的な歯科検診の重要性を周知し、節目年齢の対象の拡大を考慮すること。また、若年層

に歯周病予防対策として普及啓発に努めていく。

## 猫が幸せに暮らす町に

**質問 Q**

野良猫が軒下や倉庫に住みつき赤ちゃんを産んでしまったり庭に入ってきてふん尿などに困っているという声をよく耳にする。県は「ねこの適正飼養ガイドライン」を発表しているが、町内では猫が適正に飼養されているのか。地域猫活動は推進しないのか。

**答弁 A**

環境課長 猫に関する苦情が今年度3件あり、飼い主のいる猫であった。一方で、野良猫が集団で生息しているといった情報はない。このことから、町内においては犬や猫の飼養はほぼ適切に行われていると考えている。地域猫活動の実施は考えていない。





# 「河口の稚児の舞」とわたし

堀田 礼子  
(河口在住)

毎年、四月二十五日の河口浅間神社(延喜式内名神大社浅間神社)の例大祭では、稚児の舞の奉納と御神輿の御神幸が挙行されます。

また、七月二十八日の太々御神楽祭では、貞観六年の大噴火の際に浅間様の荒神霊をお慰めしたもので、古代よりのしきたりにのっとり「御幣の舞」「扇の舞」「剣の舞」「八方の舞」「宮めぐりの舞」を奉納します。

わたしが舞を始めたのは、先に習っていた近所のお友達と遊びたくて、何度かその子と一緒に舞の先生の家までついて行き隅でお稽古を拝見し、最後に先生の手作りおやつを戴いて帰ったのがきっかけでした。当時、先生(宮下恵美子先生)の「神様に捧げる舞だから」ということばに、厳しくも高貴な空気に引き込まれ、いつの間にか動きを覚え、家で畳の目を気にしながらすり足で母の前で舞って見せました。踊るのではなく舞う意識。神様に舞を捧げる意識。神様に近づいたようで嬉しかったです。稚児の赤い衣装も大好きでした。

わたしが舞った最後の夏祭り、両手を広げて鈴を鳴らしながら境内を三回まわる「宮めぐりの舞」では、最後まで左手の扇が下がらないようにと一生懸命舞いました。境内の奥から流れてくる清涼な風が神様のご褒美のようで、清々しく稚児の舞を舞い終えたことを懐かしく思い出します。



昨年、世界文化遺産の構成資産になった河口浅間神社の創建千五十年祭記念行事が十二月五、六日の二日間に渡り開催され、稚児の舞の奉納など数多くのイベントが行われました。これからも多くの方々に見守られ、末永くこの「河口の稚児の舞」が継承されることを心から願っています。

## 議会見・聞・録

3月10日「手話言語条例」制定について富士河口湖町町議会を12名で傍聴しました。

「手話言語条例」とは手話を言語と認め尊重し、聴覚障がい者の暮らしやすい社会環境の整備のため手話の普及をめざす条例です。

佐藤議員の的確な質疑に対して、町長自らお答えいただき、

今後の条例制定に向け、一步をふみだした感がありました。

しかし条例制定というだけでは問題解決にはいたりません。制定後は学校、病院、防災対策、あるいは観光関連等、様々な方面でこの条例が生かされていくことが大切です。

まずは、条例制定、そしてその条例がどのように効力を発揮していくのか関心をもっていきたいと思っております。

(富士河口湖町聴覚障害者協会 堀内 勉)

## 議会を傍聴しませんか?

## 次の定例会は6月です

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。



●議会広報常任委員会  
委員長 渡辺 元春  
副委員長 山下 利夫  
委員 渡辺 武則  
渡辺 美雄  
井出 正広  
小佐野 快  
堀内 昭登  
井出 総一  
駒谷 隆利

(渡辺 武則)  
まずは、ジャガイモの種まきからですね。頑張ってください。

長かった冬も終わりを告げ、富士山麓のあちこちから桜の便りが届いています。早く畑に出たくてうずうずしていた皆さん。ようやくその時期が来ましたね。昨年のマルチを剥がし、石灰を撒いて、耕して準備は万端ですか?  
さて、新年度最初の「議会だより」をお届けします。今回は28年度の当初予算の概要と、予算特別委員会の質疑内容を中心に編集いたしました。できる限り簡潔にわかりやすくまとめましたが、皆さんからのご意見をお待ちしています。

編集後記